

## 令和5年度岡山県防災会議 議事概要

### 【開催概要】

- 1 開催日時：令和6年2月13日（火） 14：00～15：00
- 2 場 所：ピュアリティまきび 2階 孔雀
- 3 出席者：委員：50名（別添資料「出席者名簿」のとおり）  
事務局（県危機管理課）：10名
- 4 資 料：別添のとおり

発言者	議 事
事務局 (岡山県危機管理課長)	<p><b>【議題1】岡山県地域防災計画の修正について</b></p> <p>事務局が、資料1に基づき説明を行い、岡山県地域防災計画（風水害等対策編、地震・津波災害対策編、原子力災害等対策編）の修正について、質疑、意見なく、原案のとおり承認された。</p>
災害支援ネットワーク おかやま (石原氏)	<p><b>【議題2】その他</b></p> <p>① 関係機関等からの情報提供</p> <p>ア 災害中間支援組織と災害ケースマネジメント</p> <p>災害支援ネットワークおかやま（石原氏）が、資料2に基づき説明を行った。</p>
岡山県医師会 (松山委員)	<p>(質疑・応答)</p> <p>資料の中に平成30年7月豪雨災害時に在宅避難者の調査を1800件実施した旨が記載されているが、対象の数（1800件）については、どのようにして把握されたのか。</p> <p>東日本大震災でJMATを派遣した際に、在宅避難者の巡回を行ったが、時間効率の良い支援ができなかった経緯がある。</p> <p>在宅避難者の把握方法として、何か良い方法があれば教えていただきたい。</p>
災害支援ネットワーク おかやま (石原氏)	<p>資料の中の岡山市の例に関しては、岡山市から情報をいただき、被災エリアから母数（1800件）を洗い出した。</p> <p>その他の方法としては、保険会社が使用している、震度や雨量から住家の状況や浸水規模等を予測できるシステムを活用し、対象世帯数を洗い出す方法がある。</p> <p>また、現在、保険会社等の民間団体が把握する情報と行政機関が把握する情報が一致していない場合があるため、それぞれが把握している情報の突合・情報共有を行うことで、より円滑に官民が連携した支援が行われると考える。</p>
川辺復興プロジェクト あるく (楨原氏)	<p><b>【議題2】その他</b></p> <p>① 関係機関等からの情報提供</p> <p>イ 平成30年7月豪雨災害後の取組み</p> <p>川辺復興プロジェクトあるく（楨原氏）が、資料3に基づき説明を行った。</p>

